

提出 順番	No. 3	令和 4 年 11 月 24 日 午前・(午後) / 時 56 分受領
----------	----------	--

令和4年11月24日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 グリーンライフ・ポイント推進事業の検討について	<p>「グリーンライフ・ポイント推進事業」とは環境省が実施する事業で「環境に配慮した行動に対してポイントが付与される制度」です。</p> <p>日本は温室効果ガスの排出量を2030年度において2013年度より46%削減することを米国主催気候リーダーズサミット(2021年)で表明しています。期限まで残り8年に迫っているなか、日本の温室効果ガス排出量は消費ベースで見ると全体の約6割が衣食住を中心とした家計関連です。従って、企業や自治体等の努力だけでは難しく国民一人ひとりに意識してもらおう施策が必要と考えます。</p> <p>グリーンライフ・ポイント推進事業は環境に配慮した日常の行動をポイント化することで、一人ひとりが環境問題を自分事とし環境に配慮したライフスタイルの転換への気運を高めようとするものです。今までSDGsに関心はあったけれど意識だけで行動に繋がらなかった人もいます。ポイント還元など目に見える形で特典が受けられれば、エコな行動も楽しみながら自発的にできるのではないのでしょうか。</p> <p>環境問題に積極的に取り組んでいる企業とも連携してグリーンライフ・ポイント推進事業を導入し、町民一人ひとりが環境に配慮したライフスタイル転換への気運を高めることにもつながるのではないかと思い、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 本事業に対する本町の認識は。</p>

<p>2 発達性読み書き障害(ディスレクシア)への支援について</p>	<p>(2) 町民の脱炭素型ライフスタイルへの転換のため、本事業に取り組むべきと考えるが、町の考えは。</p> <p>発達性読み書き障害であるディスレクシアは学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達に遅れはないものの文字の読み書きに限定した困難があり、知能や聴いて理解する力、発話で相手に自分の考えを伝えることには問題がないとしても読み書きの能力だけに困難を示す障害のことを言い、そのことによって学業不振が現れるなど二次的な学校不適応などが生じる疾患です。</p> <p>主な特徴は①通常の読み書きの練習をしても音読や書字の習得が困難。②音読ができたとしても読むスピードが遅い。③漢字や仮名の形を思い出すことが難しいため、文字が書けない、よく間違える。④文字を書くことができるが、その文字の形を思い出すまで時間がかかるため、文章を書くのに非常に時間がかかる。</p> <p>ディスレクシアは日本の小学生約7～8%に存在するといわれておりディスレクシアの児童はクラスに平均2～3人いるとみられます。ディスレクシアは周りの人が理解し適切なサポートをすることで困難さを軽減することもできるとされています。そこでディスレクシアへの適切なサポート体制について伺います。</p> <p>(1) 小中学校においてディスレクシアの疑いのある児童・生徒の把握状況は。</p> <p>(2) 学校現場でディスレクシアが発見された際、保護者との連携、また、専門医への診断が必要な場合など医療機関への接続をスムーズに行う体制はできているのか。</p> <p>(3) 発達性ディスレクシアは保護者の理解が不可欠であり、保護者に対して理解を促す必要性について教育委員会の見解は。</p>
-------------------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。